

掲示板

皆さんの頁です。研究助成金・補助金・賞などの候補者公募、不用品の贈呈・交換・求文献などにご利用下さい。

この欄への掲載については、日本化学会ホームページ www.chemistry.or.jp/journal/kakou-1/keijiban.html をご参照下さい。

なお、内容などが変更となる場合がございますので、最新の情報は掲載元の HP などをご確認ください。

日本石鹸洗剤工業会 2025 年度 油脂、及び石けん・洗剤の原料に 関する新規用途開発研究助成の募集

日本石鹸洗剤工業会では 2026 年度油脂、及び石けん・洗剤の原料に関する新規用途開発研究助成の募集をします。詳細は下記 HP 参照。助成額：1 件 100 万円まで 2 件上限。対象研究：油脂製品および油脂を原料とする製品（脂肪酸・グリセリン・アルコール・アミン等）の新規用途開発研究、油脂製造プロセスにおける脱炭素・循環型経済実現などに寄与する研究、藻類等新たな原料油脂の研究など、石けん・洗剤のサプライチェーン上にある研究。対象者：国内の大学、高専、公的研究機関に所属する研究者。応募方法：応募用紙は当工業会 HP でダウンロード可。必要事項を記載の上、2025 年 8 月 31 日(日)までに事務局まで E-mail 送信。選考方法：選考は日本油化学会に委託し当工業会理事会で決定。選考結果は 2026 年 1 月末までに通知。連絡先：103-0027 東京都中央区日本橋 3-13-11 日本石鹸洗剤工業会 E-mail: research-grant@jsda.org <https://jsda.org/>

花王芸術・科学財団 2025 年度 花王科学賞（顕彰）・花王科学 奨励賞（研究助成）の募集

花王芸術・科学財団では、日本国内の基礎研究の進歩発展に顕著な研究業績を挙げた将来有望な若手研究者に対して、花王科学賞（顕彰）、花王科学奨励賞（研究助成）を贈呈します。対象分野は「表面の科学」の〈化学・物理学分野〉と〈医学・生物学分野〉です。ユニークなサイエンスを求めています。分野の詳細は下記 HP にてご確認ください。(1) 花王科学賞（顕彰）：国内の国公立の大学、または研究所等において本人の主体的な研究によって独自の成果を挙げた 45 歳以下の日本在住の研究者。各分野 1 件（計 2 件）、賞金 300 万円、記念品。賞金の用途には条件を付けません。(2) 花王科学奨励賞（研究助成）：国内の国公立の大学、

または研究所等に所属する 35 歳以下の研究者（例外として 36 歳以上となる博士の学位を取得後 4 年以内の者を含む）。各分野 5 件（計 10 件）助成金 200 万円/件。期間 1 年。募集期間：(1) (2) ともに 2025 年 7 月 1 日(火)～10 月 31 日(金)。応募方法その他詳細は下記 HP をご参照下さい。問合せ先：公益財団法人花王芸術・科学財団事務局 電話(03) 5630-9860 E-mail: zaidan@kao-foundation.or.jp <https://www.kao-foundation.or.jp/>

徳山科学技術振興財団 2026 年度 研究助成の公募

徳山科学技術振興財団では 2026 年度の研究助成およびスタートアップ助成の公募を行います。(1) 研究助成（新材料およびこれに関連する技術分野で、新材料開発の基礎ならびに応用を指向する独創的研究。国内の大学等に常勤する 45 歳未満の研究者に対する助成）。助成額：1 件 200 万円。12 件程度。(2) スタートアップ助成（新材料およびこれに関連する技術分野で、新材料開発の基礎ならびに応用を指向する独創的研究。国内の大学等に常勤する 45 歳未満の研究者のうち、学位取得後 10 年以内および現在のポジションに就いて 3 年以内の研究者に対する助成）。助成額：1 件 100 万円。12 件程度。募集期間：2025 年 8 月 1 日(金)～9 月 19 日(金) 12 時必着。応募方法：下記 HP に記載してありますのでご確認ください。ご連絡先：745-8648 山口県周南市御影町 1-1 (公財) 徳山科学技術振興財団 電話(0834) 34-2581 E-mail: zaidan@tokuyamagr.com <https://www.tokuyama.co.jp/zaidan/>

徳山科学技術振興財団 2026 年度 国際シンポジウム助成の公募

徳山科学技術振興財団では 2026 年度国際シンポジウム助成の公募を行います。助成対象：国内で開催される、新材料分野（無機、有機、高分子、その他）およびこれに関連す

る科学技術分野の国際シンポジウムで、当財団の助成事業目的にふさわしいもの。対象とする会議の規模としては約百人規模から数百人規模の会議。助成額：1 件 10～30 万円。募集期間：2025 年 8 月 1 日(金)～9 月 19 日(金)。応募方法：下記 HP に記載してありますのでご確認ください。ご連絡先：745-8648 山口県周南市御影町 1-1 (公財) 徳山科学技術振興財団 電話(0834) 34-2581 E-mail: zaidan@tokuyamagr.com <https://www.tokuyama.co.jp/zaidan/>

地球規模課題対応国際科学技術協力 プログラム (SATREPS) 令和 8 年度公募について（予告）

科学技術振興機構 (JST) は、地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム (SATREPS) において、令和 8 年度の研究提案を令和 7 年 8 月より募集予定です。本プログラムは、国際協力機構 (JICA) と連携し、科学技術の競争的研究費と政府開発援助 (ODA) を組み合わせることにより、地球規模課題の解決に向けた国際共同研究を推進するものです。募集期間：令和 7 年 8 月下旬～令和 7 年 10 月下旬予定 ※最新情報は、随時 公式 HP (<https://www.jst.go.jp/global/koubo/index.html>) に掲載いたします。公募概要（予定）：応募要件：日本国内の研究機関、企業などに所属して、国際共同研究の研究代表者としての責務を果たし、最初から最後まで国際共同研究に従事できること。なお、相手国研究機関から相手国の ODA 担当省庁を通じ、日本政府に対する技術協力要請が行われる必要があります。対象分野：環境・エネルギー/生物資源/防災。研究期間：3～5 年間。予算規模：1 課題あたり、1 億円程度/年（内訳）JST：委託研究経費 3,500 万円程度/年、JICA：ODA 技術協力経費上限 3 億円/5 年間、上限 2.4 億円/4 年間、上限 1.8 億円/3 年間。問合せ先：科学技術振興機構 (JST) 国際部 SATREPS グループ 担当：土屋、森本 E-mail: global@jst.go.jp

第 16 回化学人材育成プログラム 支援専攻の募集

(一社) 日本化学工業協会では、化学産業が求める博士人材の育成に積極的な大学院専攻（博士後期課程）を支援する事業「化学人材育成プログラム」を展開しています。支援内容は、(1) 支援専攻から推薦された博士後期課程進学者への奨学金給付（2027～2029 年度、1 名当たり 20 万円/月×3 年間支給、各年度 1 名/専攻）、(2) 支援専攻所属学生と会員化学企業との交流、(3) 就職の支援などです。本プログラム開始以来、これまでの 14 年間で、およそ 30 の

大学院専攻を支援し、約 130 名の博士後期課程学生に奨学金を給付しております。また、支援専攻からは多くの博士後期課程修了者が化学系企業へ就職し、活躍されています。この度、第 16 回目となる支援対象専攻募集を 9 月 1 日(月)より開始いたしますので、大学院化学系専攻からのご応募をお待ちしております。募集期間：2025 年 9 月 1 日(月)～9 月 30 日(火) [必着]。連絡先：(一社) 日本化学工業協会 化学人材育成プログラム協議会事務局 E-mail: jinzai_ikusei@jcia-net.or.jp 詳細は、下記 QR コードより化学人材育成プログラム協議会 HP をご参照下さい。



令和 7 年度「東レ理科教育賞」 および「東レ理科教育賞・企画賞」 募集のご案内

〔東レ理科教育賞〕対象：中学・高校レベルでの理科教育における新しい発想と工夫考案に基づいた教育事例（教育の現場で実績のあるもの）。褒賞：1. 東レ理科教育賞文部科学大臣賞（東レ理科教育賞の中で特に優れているもの）賞状、銀メダル、副賞賞金 100 万円、2. 東レ理科教育賞賞状、銀メダル、副賞賞金 70 万円、3. 東レ理科教育賞佳作（東レ理科教育賞に次ぐもの）賞状、副賞賞金 20 万円、4. 東レ理科教育賞奨励作（東レ理科教育賞および佳作とは別に、理科教育上広く普及を奨励するもの）賞状、副賞賞金 20 万円、を合わせて 10 件程度選定。応募締切日時：令和 7 年 9 月 30 日(火) 24 時（事前申込みは 9 月 29 日(月) 12 時）。〔東レ理科教育賞・企画賞〕対象：中学・高校レベルでの理科教育における新しい発想と工夫考案に基づいた企画・開発。褒賞：賞状、副賞賞金 10～20 万円（10 件程度選定）。応募締切日時：令和 7 年 9 月 10 日(水) 24 時（事前申込みは 9 月 9 日(火) 12 時）。〔両賞共通〕応募資格：中学・高校の理科教育を担当、指導、または研究する方。応募手続：所定の応募用紙に必要事項を記入し PDF 形式に変換の上、応募専用 E-mail アドレス宛てに送信。下記 HP の応募要領参照。問合せ先：103-0021 東京都中央区日本橋本石町 3-3-16 公益財団法人東レ科学振興会 電話(03) 6262-1656 www.toray-sf.or.jp/awards/education/

日本板硝子材料工学助成会 令和8年度研究助成募集

公益財団法人日本板硝子材料工学助成会では、令和8年度研究助成の募集をしています。詳細は下記HPをご参照下さい。助成対象：無機材料およびこれに関連する科学・技術研究。助成額：総額5,000万円程度(40件程度、1件140万円以下)。募集期間：令和7年8月1日(金)～11月18日(火)〔必着〕。連絡先：664-8520 兵庫県伊丹市鴻池2-13-12 日本板硝子株式会社 技術研究所内

電話 (072) 767-1701 E-mail: kenji.uchiyama@nsg-zaidan.or.jp <http://nsg-zaidan.or.jp/>

第17回(2025年度) 野口遵研究助成の募集情報

公益財団法人野口研究所では、若手研究者の独創的かつチャレンジングな研究を助成すべく野口遵研究助成制度を設けています。確固たる論理のもと学術性や発展性に長ける研究テーマであれば、短期的な産業有用性は見えにくくとも、その“孵化”

を支援いたします。募集課題：(1) エネルギー・資源・環境・エレクトロニクスの革新に寄与する新材料や新プロセスに関する研究、(2) ライフサイエンスの進展に寄与する研究。応募資格：常勤・非常勤を問わず国内の大学・大学共同利用機関および高等専門学校に勤務する39歳以下の研究者、所属長の推薦が必要です。助成額：1件につき原則220万円。採択件数：10～15件。募集期間：2025年9月1日(月)9時～10月31日(金)12時。贈呈式：2026年3月23日(月)に必ずご出席

願います。助成金贈呈時期：2026年4月末日に一括振込予定。応募方法：公益財団法人野口研究所HP研究助成金ページ (https://noguchi.or.jp/human_resource/subsidy_award/) をご覧下さい。問合せ先：173-0003 東京都板橋区加賀1-9-7 公益財団法人野口研究所 野口遵研究助成金事務局 電話 (03) 3961-3255 (代表) E-mail: josei@noguchi.or.jp

“掲示板”欄への掲載申込について

①掲載対象

- ① “掲示板”欄への掲載申込みは、本会会員を対象とした化学に関連する内容に限りま。
- ② 掲載する内容は、研究助成金・補助金・賞などの候補者公募、求文献、不用品の贈呈・交換などです。
- ③ 同一原稿の掲載は1回に限りま。
- ④ 講演会などの行事の開催案内は掲載できません。本会の共催・協賛・後援を得て、“講演会・講習会”欄にご投稿下さい。

②字数制限と掲載例

- ① 原稿は600字以内で作成して下さい(英文は和文の0.55字で換算)。この文字数を超える原稿は、内容を省略し、題名、申込先のみを掲載します。
- ② 掲載例として本会ホームページに最新号のPDF版を公開しております。<https://www.chemistry.or.jp/journal/chemical-industry>より「化学と工業」の関連リンク「最新の掲示板」をご覧ください。

③原稿締切日と掲載月

- ① 原稿締切日は、毎月25日です。前月26日から当月25日までの投稿原稿は自動的に翌々月号に掲載となります。
- ② 通知された掲載月以外に掲載希望の場合は専用投稿フォーマットの“連絡事項”欄に明記して下さい。

④原稿作成と投稿方法

- ① 原稿は専用投稿フォーマットを使用して下さい。
- ② 専用フォーマット使用方法
 - A) 数字、英文字は半角で入力して下さい。
 - B) 機種に依存する文字の注意：機種に依存したり、インターネットでの転送を保証されていないため使用できない文字がありますのでご注意ください。
【使用できない文字例】
 - ・半角カナ；ｱｶﾀﾝ, 記号(約物)；｡, 〔(／ 等
 - ・ローマ数字；ⅠⅡⅢⅣ, 丸数字；①②③④
 - C) テキスト上で表現できない文字(外字, 作字)については使用を避け

て下さい。なお、人名・地名等の固有名詞で止むを得ない場合は●で代用し、投稿フォーマットの“連絡事項”に●印の指示を記入して下さい。

- D) 文書中で書式指定(上付き, 下付き, イタリック体)を希望の場合は、タグ付け(HTML形式)をして下さい。

【見本】・上付； $P^{2+} \rightarrow P$ ²
・下付； $CO_2 \rightarrow CO$ ₂
・イタリック；*italic* → <I> italic </I>

- ③ 原稿の作成が終わりましたら、画面下の送信内容確認ボタンをクリックし、送信内容をご確認下さい。内容確認後送信ボタンをクリックすると投稿が完了します。投稿後、原稿の校正はできませんのでご注意ください。
- ④ 投稿が完了しましたら、受理通知メールが発信人宛に返信されます。受理通知メールにて、受付番号、掲載予定号、投稿内容が確認できます。受理通知メールが届かない場合は、正常に原稿が受理されていないおそれがありますので、必ず受理通知メールをご確認下さい。
- ⑤ 投稿された原稿は、編集部により所定の様式に整理して掲載いたします。

⑤送信後に大幅な訂正が生じた場合

- ① 原稿締切日(当月25日)まで；投稿フォーマットの“連絡事項”欄に先に投稿した際の受理通知メールに記載の受付番号、受理通知メール受信日と原稿差替えの旨を記入し再投稿して下さい。その際、E-mailにて三美印刷宛その旨をご通知下さい。
- ② 原稿締切日以降は原則として訂正はできません。

⑥問合せ

【投稿に関する問合せ】

日本化学会学術情報部「化学と工業」誌事務局
E-mail: kakoshi@chemistry.or.jp

【修正に関する問合せ】

三美印刷「化学と工業」誌編集部
電話 (03) 6807-8212 E-mail: kakou-shi@sanbi.co.jp